



今年度のクラブ活動の締め

「クラブ活動」とは、4年生以上の子供たちで組織される学年や学級が異なる集団によって行われる活動です。年度当初に子供たちにどんな活動をしたいのか、事前にアンケートを取り、子供たちの希望が反映されています。前年度活動があったクラブ活動でもアンケートによって、希望がなかった場合は、無くなるというシステムです。昨日13日(水)は、本年度最後のクラブ活動でした。4年生から6年生までの発達段階や経験の差がありますが、一年間それぞれが互いに協力しながら活動していました。今日はその締めとして、各クラブの動画が、ロイロノートで配信されており、全校児童が帯西のクラブ活動ではどんなことをやっているのかを視聴することができました。

小学校のクラブ活動の経験が、部活動などの中学校生活の充実や将来の趣味や職業へと発展することなども考えられます。次年度もクラブ活動を楽しみながら、クラブ活動の時間も「わくわく」できるように充実させてほしいと思います。



学校百景⑬～メッセージを伝える窓 part2～



今、6年生の中庭側の窓には上写真のような掲示がされています。「帯山西小学校のみんなありがとう♥ぼくらをこえろ!」という文字が一つ一つ画用紙に描かれ、下級生みんなが目にしていきます。6年生に話を聞くと、「もうすぐ私たちは卒業しますが、帯西の『わくわく』や『4つの心』をこれからも引き継いでいって、さらにいい学校にして欲しいという思いで書きました。」ということでした。6年生から引き継いだ伝統をさらに次年度より良くしながら、帯西をさらにパワーアップしたいと思いました。

音楽クラブミニコンサート

昨日の昼休みには、音楽クラブのコンサートがありました。コンサートの意味について音楽クラブの6年生は「音楽クラブは、自己満足で終わっていたクラブなんですけど、こうやってコンサートを開くことによって、臨機応変力も付くし、『帯西イエロー』の心も育ちます。」「こうしてミニコンサートを開くことによって、わくわくする学校に近づけると思います。」と答えてくれました。企画してくれた音楽クラブも素晴らしいのですが、それを聴きに来る子供たちの共感が素敵だと思いました。



実は、学習指導要領には、クラブ活動の内容として、「クラブの成果の発表」が位置づけられています。子供が共通の興味、関心を追求してきた成果をクラブ成員の発意や発想による計画に基づき、協力して発表できるようにすることは意義あることなのです。今年度は他のクラブ活動も映像でそれぞれの活動の紹介を映像で配信してくれたので、全校でクラブ活動の成果を共有することができました。